

「やりたい」ことをいつまでも「できる」ように

当事業所ではコグエボを用いて注意力、記憶力の簡易テストによる認知機能のチェックを毎月行っています。注意力と記憶力の欠落は、ヒューマンエラーにつながります。見落としや聞き間違い、記憶違い、間違っただ判断をすることで大きな事故につながる可能性があります。どの程度注意力、記憶力があるのかを評価し、対策やトレーニングを行うことが大切です。

☆記憶力テスト（フラッシュライト）

フラッシュライトは単に記憶力だけでなく、一時的に情報を記憶しながら、その情報を処理する能力である（視覚性・聴覚性）ワーキングメモリの課題としても用いられています。

ワーキングメモリが衰えると「読み書きの低下」「注意散漫」「聞き間違いによる誤解や思い込み」等の日常生活の遂行能力に影響を及ぼすとされています。



☆注意力テスト（視覚探索）

注意障害になると、周囲からの刺激に対して意識を向けられなかったり、一つの事に集中できなくなったりと仕事や日常生活でミスが多くなります。

また、高齢者の転倒には運動能力的なことだけではなく、注意分散能力のような認知的なことも関与しているといわれています。

視覚探索を行うためには、数字や文字の認識・精神的柔軟性・注意持続性・視覚的探索力・視覚運動性・手の運動と視覚の協調性など様々な能力が必要とされており、継続的に行うことで複数の認知機能のトレーニングにもなります。



リハビリステーション・リハビリスタジオマザーでは利用者様が安心・安全に運動ができるよう送迎車・器具・手すり等の消毒、来所時の手洗い、手指消毒、マスクの着用、換気、座席の間隔を空けるなど感染予防を徹底しています。

【ご利用にあたってのお問合せ】
リハビリステーション マザー
427-5363（安達・西川まで）
リハビリスタジオ マザー
427-5371（戸田・中井まで）



リハビリステーションマザー
Waking&Posture Rehabilitation Day Service



リハビリスタジオマザー
Waking&Posture Rehabilitation Day Service